

【概要】

人と自然の調和した自然環境の保全に資することを目的とし、野生動植物の保護繁殖に関する各事業に取り組み、社会貢献につとめた。実施した主な事業は次のとおりである。なお、平成 23 年度は公益財団法人への移行申請を行い、その認可を受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人ホシザキグリーン財団となっている。

I. 事業部門

1. 野生生物研究所事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 2 項該当事業)

- (1) 調査研究・情報収集発信事業を中心に、宍道湖グリーンパークやふるさと尺の内公園の環境整備のほか、各種の普及啓発活動も含めた財団の幅広い事業を支えるべく運営を行った。
- (2) 調査研究や普及啓発事業に必要な資料(文献・標本等)の収集・保存、それらを活用するための整理など活動基盤を維持する拠点として運営を行った。
- (3) 標本室と図書室の温度や湿度などを管理した。
- (4) 野生生物研究所の実習室の利用促進を図り、団体対応の受け入れや観察会などの室内プログラムを実施した(年間 60 件、のべ 2,837 人)。

2. 宍道湖グリーンパーク事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 2 項該当事業)

- (1) 宍道湖グリーンパークおよびビオトープ池の適切な管理を行った。
- (2) ビオトープ池において、その機能向上のための改善計画を策定し、調査設計に入った。
- (3) 園内の維持管理(除草作業など)は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施した。
- (4) カワセミ池手前の湿地とせせらぎの観察がしやすいよう葦簀スクリーンを移動するとともに、湿地に八つ橋をかけることで、園内の自然観察ポイントを増やした。
- (5) カワセミの人工営巣壁について、繁殖継続のための巣穴の埋め戻し作業などを行った。
- (6) ビオトープ池では、渡り鳥の飛来などに配慮しながら水位管理を実施した。
- (7) ビオトープ池に希少な植物であるタコノアシの保護増殖のための囲いを設置した。
- (8) 観察舎内などに鳥類をはじめとする写真や解説を掲示し、フィールド情報を時節にあわせて更新するなどの掲示物の管理を行った。
- (9) 夏から秋にかけては捕虫網を自由レンタルし、園内での虫採り体験のきっかけづくりをした。
- (10) パークボランティア(22 名)を登録し、観察会の企画実施のほか、イベントや園内の作業補助などに関わった。
- (11) 白鳥の採食場として、グリーンパーク周辺農地約 10ha に地権者の協力を得て水を張り、飛来環境の整備を実施した。
- (12) 野鳥観察舎等で年間 30,294 人の利用者があった(開園より 266,909 人)。

3. ふるさと尺の内公園事業 (寄付行為第 4 条第 1 項、第 5 項該当事業)

- (1) 尺の内公園の適切な管理を行った。
- (2) 園内の維持管理(除草作業など)は昆虫や野鳥など野生動植物の生息に配慮して実施し、オニバスやオキナグサなどの希少な植物の生育が維持できるよう管理を継続した。
- (3) 園内の一面を「どんぐりの森」とする整備を継続し、クヌギなどの移植と間伐を行った。
- (4) 試験的に設置したカブトムシやクワガタ類の繁殖場所の経過観察をした。

- (5) 「オニバス池」として位置づけた人工池にオニバスが定着するよう試験やモニタリング等を実施するとともに、水位調節がしやすいように排水口の改良工事を行った。
- (6) 公園に隣接する丘陵地に植栽したクヌギや草地環境を維持するための草刈りを行い、別の一面では里山林としての環境を維持するために竹の伐採を行った。
- (7) 丘陵地の一部立ち入りにくかったエリアに新たに管理通路を切り開き、調査等をしやすくした。

#### 4. 調査研究事業（寄付行為第4条第2項、第3項該当事業）

- (1) 職員による自主研究を次の課題で取り組んだ。

##### 〈鳥類研究〉

- ① マガン・ヒシクイ・コハクチョウの日周行動特性の研究
- ② 特定鳥類の生息状況調査
- ③ グリーンパークの人工営巣壁におけるカワセミの繁殖モニタリング
- ④ 鳥類生息情報の集積
- ⑤ 尺の内公園の鳥類調査
- ⑥ グリーンパーク周辺の鳥類定量カウント調査
- ⑦ 白鳥の採食場の利用状況調査

##### 〈昆虫研究〉

- ① ネクイハムシ亜科の進化生物学的研究
- ② 日本産水生昆虫類の分類学的研究
- ③ 島根県の水生昆虫類の保全生物学的研究
- ④ 山陰の海岸に生息する昆虫類に関する研究
- ⑤ 島根県産昆虫目録作成のための基礎研究
- ⑥ 尺の内公園の昆虫類調査

##### 〈その他〉

- ① 汽水域のハゼ類の生態研究
  - ② 人工池におけるオニバス定着の試み
  - ③ 尺の内公園の生物相モニタリング
- (2) 委託調査研究として「隠岐島前の陸上節足動物相調査」、「中海周辺におけるガン・ハクチョウ類の採食分布調査」など7課題を委託して実施した。
  - (3) 5名の客員研究員を委嘱して研究体制を強化した。
  - (4) 学会や研修会等で5題の発表を行った。
  - (5) 財団研究報告書や他団体発行誌に35題の研究論文を発表した。
  - (6) 環境修復に関する事業として宍道湖のワカサギの系統保存について検討した。

#### 5. 普及啓発事業（寄付行為第4項第2項該当事業）

- (1) 宍道湖グリーンパークで以下の企画を実施した。

- ・ 定例自然観察会（11回）
- ・ わくわくグリーンパークひろば（8回）
- ・ 田んぼの観察会と水生生物や植物（コドラート設置）の記録（3回を定例観察会やわくわくひろばとして実施）
- ・ 大型連休（ゴールデンウィーク4/29-30、5/3-5）のイベントとして日替わり工作（5日間）
- ・ 秋の連休（9/17-19）に「グリーンパークであそぼう！」を開催

- ・プレゼント企画（夏；7/1-8/31、冬；1/1-3）
  - ・グリーンパーク開園 15 周年を記念して「ありがとうデー」開催（6/5）
  - ・グリーンパーク来園 25 万人達成セレモニー（10/9）
- (2) 冬の特別展をゴビウスとグリーンパークで共同開催し、グリーンパークでは野鳥観察舎を会場とした特別展「鳥の色・虫のもよりのヒミツ」を実施した（12/17-2/6）。
  - (3) グリーンパークで企画展「ありがとう！ 宍道湖グリーンパークの 15 年」を開催した（5/25-7/4）。
  - (4) グリーンパークで企画展「冬鳥探しに出かけよう！」を開催し（9/7-11/7）、あわせてマガン・コハクチョウの渡来日予想を実施した。
  - (5) 世界湿地の日になんでグリーンパークで企画展「グリーンパークオススメ！ 宍道湖の魅力」を開催した（2/22-4/2）。
  - (6) 宍道湖学習講座「水の中の鳥たちの餌生物の話」を開催した（2/5）。
  - (7) グリーンパークではパークボランティアの企画参加による自然観察会や環境学習プログラム（委託事業）を実施した。
  - (8) パークボランティアに対して研修会の開催などの啓発を行った。
  - (9) グリーンパーク利用者（主に団体）の申込みに応じて観察プログラム等の対応を行った（年間 54 回、のべ 2,824 人）。
  - (10) ふるさと尺の内公園で定例自然観察会を実施した（5 回、雨天中止 1 回）。
  - (11) ゴビウスのガラスケース内（野鳥と昆虫に関する展示）を季節の変化に合わせて展示更新をした。
  - (12) ゴビウスを会場として「アメンボのふしぎ」の展示を企画して実施（協力）した（6/15-7/11）。
  - (13) ニュースレター「HOWP」を発行（22-25 号）し、自然情報等の発信に努めた。
  - (14) ホームページで自然情報やイベントなどの情報発信を行った。
  - (15) 学校や地方公共団体等が主催する観察会や研修会等に講師を派遣した（36 回）。

## 6. 情報収集発信事業

- (1) 文献、標本、写真、映像などの資料収集・整理につとめた。  
文献・図書は、購入 394 冊、寄贈・交換 2,082 冊、計 2,476 冊を取得した。
- (2) 「ホシザキグリーン財団研究報告 第 15 号」を発行した（原著論文 26 題、短報 12 題、308 頁）。
- (3) 「ホシザキグリーン財団研究報告 特別号 第 2～5 号」を発行した。
- (4) 宍道湖自然館ゴビウスとの特別展共同開催に伴い、展示解説書「生きものの色ともよう」を共同で発行した（54 頁）。
- (5) 宍道湖グリーンパーク周辺で見られる野鳥を紹介する小冊子「グリーンパークで Bird watching 2」を発行した（88 頁）。
- (6) 宍道湖グリーンパーク自然観察リーフレットを 1 冊（夏の昆虫編）発行した。

## 7. 地方公共団体からの受託事業

- (1) 島根県立宍道湖自然館管理運営業務（指定管理、主管課：島根県水産課）  
宍道湖自然館ゴビウスの管理運営を行い、普及啓発や調査研究などの各種事業を実施した。  
詳細は別資料（宍道湖自然館館報 No. 11）。
- (2) 鳥類生息調査業務（受託先：島根県森林整備課）  
日本野鳥の会島根の協力を得て、宍道湖・中海など主要な渡来地でカモ科鳥類の個体数調査を実施（10-3 月に毎月 1 日）した。

- (3) しまねレッドデータブック改訂現地調査業務（受託先：島根県自然環境課）  
しまねレッドデータブック改訂のため、鳥類（カンムリウミスズメ）や淡水エビ類、サンショウウオ類などの現地調査を行った。
- (4) 学んで繋げる環境学習推進事業（受託先：島根県環境政策課）  
宍道湖・中海のラムサール条約登録湿地としての普及事業として自然観察会や環境学習会を実施した（計12回）。
- (5) 宍道湖・中海の賢明な利用推進事業（受託先：島根県環境政策課）  
ラムサール条約リレーシンポジウム「宍道湖・中海の自然とその歴史」および学習会「バスでめぐる宍道湖の歴史と自然」を開催し、宍道湖・中海のラムサール条約登録湿地としての普及事業を行った。
- (6) 斐伊川外水辺環境調査業務（受託先：中国地方整備局出雲河川事務所）  
斐伊川水系の住民参加による水生生物や水質の調査を行った。
- (7) 出雲市自然環境調査研究業務（受託先：出雲市）  
出雲市内の鳥類や水生生物について、とくにレッドデータ指定種や外来種などの生息調査を行ったほか、観察会（4件）を実施し、小冊子「出雲市のため池にすむ生きものたち(31頁)」を発行した。
- (8) 宍道湖公園利便施設管理業務（指定管理：出雲市）  
宍道湖公園利便施設多目的棟の管理業務を行った。

## II. 管理部門

### 1. 監査

平成23年6月15日に高橋良昌監事、廣瀬方利監事により平成22年度一般会計及び業務の監査を受け、会計および業務とも適正と認められた。

### 2. 理事会・評議員会等

平成23年6月23日 第1回理事会・評議員会

- ・平成22年度の事業報告を承認
- ・平成22年度の決算報告を承認
- ・定款の一部修正を承認
- ・公益申請経過報告、事業計画を承認
- ・評議員の改選を承認

平成23年7月8日 第2回理事会・評議員会

- ・定款の一部修正を承認
- ・平成23年度収支補正予算を承認
- ・理事の選任を承認

平成23年9月26日 第3回理事会・評議員会

- ・議長、議事録書名人を承認
- ・予算変更を承認
- ・特定資産における寄付者の定めた用途に関する事項の承認

平成 23 年 10 月 28 日 第 4 回理事会・評議員会

- ・議長、議事録書名人を承認
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程を承認
- ・理事の補充選任を承認

平成 23 年 12 月 9 日 第 5 回評議員会

- ・議長、議事録書名人を承認
- ・理事の補充選任を承認

平成 24 年 3 月 19 日 第 5 回理事会・第 6 回評議員会

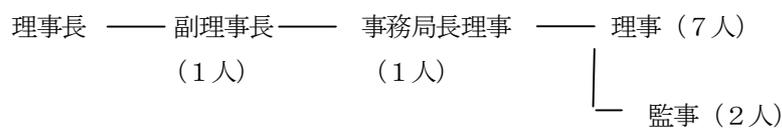
- ・議長、議事録書名人を承認
- ・平成 23 年度の収支予算の変更を承認
- ・平成 24 年度の事業計画を承認
- ・平成 24 年度の収支予算を承認
- ・ホンザキ電機(株)第 66 期株主総会議案を承認
- ・任期満了に伴う理事・監事の改選を承認

### 【組織】

理事長以下、理事 9 名、監事 2 名、評議員 15 名、職員 30 名で管理運営にあたった。

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

#### (1) 役員



#### (2) 評議員

評議員 (15 人)

#### (3) 職員

